

ていーワゴンの実証運行の課題について

【課題】

ていーワゴンの団体利用について

【後続便について】

ていーワゴンの乗車定員は8人。9人目の乗客が発生した場合は、「入間市によるチャーター便」としてタクシー車両を手配している。

【後続便の現状】 例) 東金子コース(平成30年4月の実績)

日付け	運行区間	金額	利用者
4月2日	⑤→①	¥1,090	1人
	①→⑤	¥820	2人
4月3日	①→⑧	¥1,090	3人
	⑤→①	¥1,090	2人
	①→⑬	¥1,000	3人
4月6日	②→⑤	¥730	1人
4月11日	①→⑬	¥1,270	4人
4月12日	①→⑤	¥730	1人
4月13日	⑤→①	¥820	1人
	⑤→①	¥1,090	2人
	①→⑬	¥1,270	3人
4月14日	①→⑬	¥910	1人
4月18日	①→⑤	¥910	1人
4月23日	①→⑤	¥730	2人
4月27日	⑥→21	¥1,990	3人
		¥15,540	30人

※過去の状況から分析しても2回以上の後続便はほとんど発生していない。

【発生事例】

所沢市内の小学校より、宿泊学習を目的に「仏子駅」から「青少年活動センター」間において、約20人で「ていーワゴン」を利用したいとの問い合わせがあった。

しかし、団体での利用があった場合、後続便が多数発生することとなり、運行経費が増加し、補填費が際限なく発生し、市の財政負担が増えてしまう。



後続便の台数に制限を加えることが必要